

加藤大平選手 シーズンに向け好調！ 目指すは平昌（ピョンチャン）オリンピック！



ノルディック複合競技、ソチオリンピック日本代表の本町出身、加藤大平選手（33）が北海道で開催されたサマースキー大会に出場しました。

7月28日には士別市朝日町で開催の全日本サマーコンバインド大会に出場。前半9kmローラースキーで走力のある選手に一步も引けを取らないレース展開で3位に、後半得意とするジャンプでは2本とも61m（K点60m）の最長不倒をマークし、優勝しました。加藤選手は「走りはもっと攻めなければならぬ。ジャンプはもう少し課題があるので、しっかり修正していきます」と話していました。

7月30日には名寄市で開催のサマージャンプ大会に出場。「ジャンプの状態は確認できました」と今後細かな修正を行い、8月中旬からのサマーグランプリヨーロッパ大会に臨むスケジュール。

「もちろん目指しているのはピョンチャンオリンピックです」という加藤選手。いよいよオリンピックシーズン本番。目指せ！三度目のオリンピック！



新規就農・就業者に奨励金



本町では、担い手の確保・育成を目的として新たに就農・就業された方を対象に奨励金を交付しています。

今年度は新規就農者1名、農業後継者2名、新規就業者1名に奨励金を贈呈いたしました。

新規就農者	明田 和久さん（南丘）
農業後継者	出戸 晶也さん（日ノ出）
	鷲見 亮介さん（三和）
新規就業者	長澤 裕子さん（川西）

前列左から出戸さん、鷲見さん、長澤さん（明田さんは後日来庁）

セブン-イレブン・ジャパンと2協定を締結



和寒町と株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、高齢者等の見守り及び災害時の物資供給に関する協定を締結しました。

セブンイレブンでは、店舗のある自治体との協定を進めており、奥山町長から「本町は高齢化率が高く、また、去年は避難勧告を発令する事態となり、大変ありがたい」と御礼を述べ、上川北地区ディストリクトマネージャーの二ツ木良さんから「道内の各工場やグループ会社と連携して地域に貢献していきたい。また、店舗を経営する今田弘二さんはこれまでも見守りを実践してきましたが、これまでより行政との連携を密にしていきたい」とお話しいただきました。